

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽
 を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、
 よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日 平成26年11月10日（月）ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
65112 (8B314)	曜日指定 TCF3/PBX1 t(1;19)転座	骨髓液 1.0	H	冷蔵	7~10	2730 +	FISH		凍結保存は避けてく ださい。 受託可能日は月~金 曜日です。 &コ
		血液 5.0 (ヘパリン加)	G						
65120 (8B383)	曜日指定 MYC 8q24 転座	骨髓液 1.0	H	冷蔵	7~10	397 ※2	FISH		
		リンパ節 5×5×5mm							
		血液 5.0 (ヘパリン加)	G						

検体は採取後、当日中にご提出ください。

※2：血液学的検査判断料

- TCF3/PBX1 t(1;19)転座
- MYC 8q24 転座

急性リンパ性白血病の一部にみられる TCF3/PBX1 転座、および主に Burkitt リンパ腫にみられる MYC 領域転座を FISH 法にて検出いたします。

●TCF3/PBX1 t(1;19)転座

急性リンパ性白血病(ALL : Acute Lymphoblastic Leukemia)は約 2/3 が小児に発生し、t(1;19)転座は小児 ALL の 5~6%に認められます。t(1;19)転座は *TCF3(E2A)* 遺伝子と *PBX1* 遺伝子が転座により融合遺伝子を形成し腫瘍化に至ると考えられており、WHO 分類第 4 版において特定の遺伝子異常を有する ALL として独立した病型分類がされております。

▼疾患との関連

- 急性リンパ性白血病(ALL)

▼関連する主な検査項目

- 血液疾患染色体 G-banding

●MYC 8q24 転座

8q24 (*MYC*)転座は Burkitt リンパ腫、急性リンパ性白血病、多発性骨髄腫などに認められる染色体異常で *MYC* 遺伝子が免疫グロブリン(*IG*)遺伝子と相互転座することにより脱制御され腫瘍化に至ると考えられています。*IG* 遺伝子との転座は *IGH/MYC* t(8;14)(q24;q32)が 75~90%で、残りは *IGK/MYC* t(2;8)(p12;q24)、*IGL/MYC* t(8;22)(q24;q11.2)です。*MYC* 遺伝子切断領域を挟んだプローブを用いた本検査は、転座相手に関わらず *MYC* 遺伝子転座を検出することが可能です。

▼疾患との関連

- 悪性リンパ腫(ML)

▼関連する主な検査項目

- 血液疾患染色体 G-banding
- IgH/c-myc t(8;14)転座

▼検査要項

検査項目名	TCF3/PBX1 t(1;19)転座		MYC 8q24 転座		
項目コード No.	6511 2		6512 0		
検体量	骨髄液 1.0 mL	血液 5.0 mL(ヘパリン加)	骨髄液 1.0 mL	リンパ節 5×5×5mm	血液 5.0 mL(ヘパリン加)
容器	H (保存液入り)	G (ヘパリン入り)	H (保存液入り)		G (ヘパリン入り)
保存方法	冷蔵保存してください。				
所要日数	7~10 日				
検査方法	FISH				
実施料	2730 点+397 点(「D006-5」染色体検査(すべての費用を含む))				
判断料	125点(血液学的検査判断料)		125点(血液学的検査判断料)		
備考	 凍結保存は避けてください。受託可能日は月~金曜日です。				&コ

検体は採取後、当日中にご提出ください。

●新参考文献

- 稲澤 譲治：臨床 FISH プロトコール 阿部達生監修(秀潤社)：90~95, 1997. (検査方法参考文献)
 脇本 直樹, 陣内 逸郎：WHO 分類第 4 版による白血病・リンパ系腫瘍の病態学 167~177, 2009.
 (TCF3/PBX1 t(1;19)転座)
 丸山 大：臨床血液 52(10)：233~242, 2011. (MYC 8q24 転座)